



「学校教育目標」  
 絆を深め、地域社会に  
 貢献できる生徒の育成  
 ○自ら学ぶ ○思いやる  
 ○体を鍛える

文責 竹田 圭志

### 卒業まで感謝の気持ちを胸に

3月もあっという間に10日近く経過しました。春は別れと出会いの季節…などとも称されませんが、いよいよ中学校生活最大のイベント卒業式までのカウントダウンが始まります。

2月28日に県公立入試を終えた3年生が、卒業遠足として川越市内の散策へ行ってきました。

天候にも恵まれ、この季節にしては汗ばむぐらいの暖かい春の日差しのもと、小江戸川越の歴史や文化に触れたり買い物をしたりと、半月後は別々の進路につく仲間との思い出づくりに興じたようです。



翌、3月1日は、日頃なかなか清掃の手が届かない場所を中心に、奉仕作業として清掃活動に取り組みました。おかげさまで、体育館の器具庫などがとてもきれいになりました。午後には、みやざきクリニックの宮崎通泰先生を講師にお招きして「性に関する指導」を実施しました。性に関する考えを深め、自他を尊重する大切さを学びました。



3月2日には、学年レクでポッチャとモルックを楽しみました。どちらも単純ゆえに難しさもあり、かと思えばとんでもないミラクルショットもあり…男女で協力して楽しみました。



3月3日には県公立入試の発表があり、自分の進むべき進路が概ね決まりました。

3年生の皆さんは、今まで多くの人たちに支えられて今があります。卒業までの残りの日々、今まで生きてきた自分の人生をもう一度振り返って、その感謝の気持ちをいろいろな形で伝えてください。

1・2年生の皆さんは3年生からたくさんの「恩」をいただいていると思います。「恩返し」という言葉がありますが、私は「恩送り」という言葉が好きです。いただいた「恩」を次の人たちに送る（贈る）ことです。結果的にそれが最高の「恩返し」になるとと思います。

令和4年度1・2・3年生が全員揃える日は残り4日。お互いに今しかできないことを探してみてください。

卒業式、入場や退場で胸を張って堂々と歩くこと。吉本先生の呼名に大きな返事で応えること。精一杯声を出して合唱をすること。大きな拍手で卒業生を送りだすこと。その姿を見た人、感じた人たちがきっと皆さんから受けた「恩」を次の人に送ってくれるはずです。

## 感謝の気持ちが詰まった三送会

3月8日(水)の3・4校時に「3年生を送る会」が体育館で開催されました。1・2年生が一週間後に卒業していく3年生に感謝の気持ちを伝える会です。もちろん、教職員も3年生にたくさんの感謝の気持ちを持っています。また、3年生も、後輩たちや先生方に思いを伝える会でもあります。

準備期間は短かったですが、1・2年生の実行委員を中心に準備を進めてくれました。

有志発表では、2年生の「三送会を盛りあげ隊」2名が、ステージ上でトランプのマジック(手品)を披露してくれました。3年生も見届け人としてステージに上がって会場を盛りあげました。



トップバッターとして場の雰囲気を和らげたマジック。



切れのいいリズムで会場を沸かせた吹奏楽部

続く吹奏楽の演奏では、三送会のために準備してきたアップテンポな曲で会場を手拍子の渦に巻き込みました。途中でせり出しにスカート姿(制服)で3人のダンサーが華々しく登場し、応援うちわを手にした生徒がせり出しに集まるシーンがありました。よく見れば、沼倉先生、鈴木先生、樺澤先生の3人ではありませんか。息ぴった



せり出したステージに現れた3人のダンサーと、そこに群がる親衛隊?

りのダンスで会場を大いに盛り上げました。吹奏楽部の皆さんはアンコールにも応えて、日頃の練習で培ったパフォーマンスを思う存分に発揮してくれました。

3年生の「入学から今まで」の思い出のスライド、1・2年生時代にお世話になった

秋庭先生、齋藤晋也先生、根岸先生からのビデオメッセージでは、3年生から大きな歓声が上がりました。私は、不覚にも「思い出のスライド」を見ながら涙ぐんでしまいました。修学旅行や体育祭、合唱祭など、制限されて苦しい中にも懸命に笑顔で頑張った3年生たちの姿が、鮮明によみがえってきたからです。

学年ごとの出し物では、1年生が行事や部活動、入学式の準備などでお世話になった3年生に対する感謝の気持ちをユニークに伝えました。2年生は、ゲームに登場するキャラクターに扮して寸劇を演じながら3年生への思いを伝えました。3年生は、迫力いっぱいのラグビーのニュージーランド代表(オールブラックス)が試合前にチームを鼓舞するために踊る「ハカ」を披露した後、1・2年生への感謝の気持ちを伝えました。どの学年も、アイデア満載の楽しい発表となりました。



ユニークなアイデアで感謝の気持ちを伝えた1・2年生の出し物



佐藤先生、吉本先生、堀之内先生も参加した3年生男子の迫力満点の「ハカ」の演技。

最後に、新旧生徒会長がそれぞれの思い(感謝や、今後に対する期待の気持ち)を伝えて大盛況のうちに幕を閉じました。

大成功に終わった三送会。主役は司会進行、開閉会の言葉を担当した人を含め、ステージに上がった人たちだったかもしれません。でも、裏方として前日の会場づくりをしてくれた1・2年生、さらに、スクリーンの昇降や幕(カーテン)の開け閉め、照明の担当、スライド作成、プログラム作成など、多くの実行委員の皆さん、そしてそこに携わった先生方が支えています。そして、何よりも、三送会で満面の笑顔を見せてくれた皆さん、歓声を上げてくれた皆さん、手拍子をしてくれた皆さん、拍手をしてくれた皆さん・・・のおかげです。特に3年生は最前列で盛り上げてくれました。3年生、ありがとうございました!